

## 病児・病後児保育の充実

日本共産党 丸尾 隆子

**質問** 保育園での病児・病後児保育の検討はどうなったか。またファミリー・サポート・センターの病児・病後児の利用料の軽減は図れないのか。

**答弁** 保育園での病児・病後児保育の実施はファミリー・サポート・センターや乳幼児健康支援サービス事業の利用の推移を見て今後も検討したい。センターの利用料金は、今年度からひとり親家庭や低所得の方が病児・病後児を預ける場合の負担軽減を図ったが、対象の拡大については慎重に検討したい。(福祉部長)

## 予防ワクチン接種への助成

新生クラブ 工藤 恵美

**質問** 子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する市の助成についての市長の決意を伺いたい。

**答弁** 子宮頸がん予防ワクチンの接種については、自治体の裕福さにかかわらず、全国民が享受できるものとして、国がきちんとした検討に入ることが一番好ましいと思うが、国の動向がわからない中で、現状を踏まえると財源問題もある程度めどを立てながら、議会の協力をいただき、市民の声を反映できるように重い課題として検討したい。(市長)

## 市立函病での注射器の管理

民主・市民ネット 石井 満

**質問** 市立函館病院の病棟において、注射キットの紛失から、その後新品と交換の上、患者に注射されるまでの経緯を伺いたい。

**答弁** 平成22年1月に病棟において、担当看護師から事前準備していた注射キットを注射の時間になって紛失していることが報告され、皆で捜した結果、専用のごみ箱に落ちていたのを発見した。病院では、ごみ箱に落ちたものは未使用でも使うことはなく、薬局から新たなものを取り寄せ、対応したものである。(病院局長)

## 市民体育館構想と駐車場整備

市民クラブ 北原 善通

**質問** 新たな駐車場を整備した場合、市民会館と市民体育館を合わせた駐車可能台数は何台か。また大型バスの駐車についてはどうなるのか。

**答弁** 現在、市民会館と市民体育館の駐車場の収容台数は209台だが、立体駐車場の整備により、約300台の収容が可能になると考えている。また大型バスについては、現状も駐車スペースがなく、今後確保は難しいことから、近隣の公共施設駐車場の活用なども含め基本計画の策定の中で検討したい。(警務長代行者)

## 現況調査にかかわる委託料

公明党 志賀谷 隆

**質問** 本町・五稜郭地区の現況調査をコンサルに委託しているが、内容的にコンサルに委託する必要があったのか。

**答弁** 本調査は、中心市街地活性化基本計画等を検討する中で当該地区を取り巻く現況を把握する必要があり委託したもので、委託料は約9百万円である。調査の結果、当該地区の店舗業種や業態の分布状況など今までなかったデータの収集や市民の当該地区に対する思い入れなどが把握でき、有効に必要な調査であったと考えている。(都市建設部長)

## 住宅リフォーム助成制度

日本共産党 市戸 ゆたか

**質問** 中小企業の支援、経済の活性化のため、住宅リフォーム助成制度を検討する考えはないか。また、現行の支援制度についても見直しする必要があると考えるがどうか。

**答弁** 住宅リフォーム助成制度は一定の経済波及効果はあると考えるが、一般的な住宅リフォームは結果的に個人資産の形成であり、慎重な対応が必要と考える。また現行の支援制度については市民にとって利用しやすく、より効果のある制度になるようよく研究させていきたい。(市長)

## 景観行政と市民意識の醸成

民主・市民ネット 斉藤 佐知子

**質問** 西部地区の都市景観形成地域に住む方々が、景観を守るために努力や不便などをしていの中で、景観に対し、さらに市民意識醸成のため手だてを講じる考えはないか。

**答弁** 景観に対する考え方が、人の価値観などにより異なるため、さらに共通の理解と認識を深めてもらうことが必要で、そのためには景観形成基準などの見直しの調査研究や地域の意見を聞きながらの対応も必要である。今後議論を重ね、市民意識の醸成が図られるよう取り組みたい。(市長)

## 四季の杜公園の活用

日本共産党 紺谷 克孝

**質問** 道立道南四季の杜公園の活用について、屋内施設に遊具を用意できないか。また、冬期利用についてどのように考えているのか。

**答弁** 当該公園には、雨の日や冬期間でも子供たちが遊べる多目的集会室があり、若干の遊具はある。遊具の増設はスペースの問題もあるが、北海道や指定管理者と協議をしたい。また、冬期利用についても健康増進やスポーツ・レクリエーション機能の向上の観点から必要と考えており、協議をしていきたい。(土木部長)

## 並行在来線に係る認識の違い

民主・市民ネット 日角 邦夫

**質問** 北海道が先の議会特別委員会で示した新函館駅・現函館駅間のアクセスに関わる見解と函館市との認識の違いについてどのように考えるか。

**答弁** 道が議会で当該区間は並行在来線に該当する、平成6年の確認書、覚書は札幌開業時を想定したものであるとの見解を示していることは聞いているが、知事は平成17年の道の回答も踏まえ、責任を持って対応したいとの見解を示しており、今後も北海道と連携を図り、問題の早期解決に最大限努力したい。(市長)

## 戸井高校存続に向けた取組み

民主・市民ネット 小山 直子

**質問** 戸井高校の存続に向け、函館市全体の問題として取り組んでいただきたいが、市長のこれからの取り組みについて伺いたい。

**答弁** 教育委員会では、今後改めて道教委に対し要望を行っていくとのことであるが、市としても平成21年に恵山高校を廃校したばかりで、戸井、恵山、般法華地域を考えると、つらい問題であることから、できるだけ早く北海道の知事部局、教育長のほうへ要望活動をするなり、動きをつくっていく。(市長)